

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画 施策の方向・主な施策（案）

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に
生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、
安心して暮らし続けることができる地域
づくりを行います

(6) 温海地域

温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27 集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせて活用することで新たな価値を生み出し、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地をめざします。

日本海沿岸東北自動車道（以降「日浴道」）の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。

豊富な地域資源を生かした体験型観光の推進や、多様な人材を地域づくりに生かす仕組みを構築し、交流人口や関係人口の拡大による地域活性化を図ります。

豊かな自然に生まれ、変化に富んだ地形と歴史に培われた農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築し、地域特性を生かした農林水産業の振興を推進します。

自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいつまでも住み続けられるように、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上を図ります。また、地域への愛着を育む取組を進めるとともに、次代を担う人材を育成します。

ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

○施策の方向

あつみ温泉は、令和3年に開湯1200年を迎えた歴史ある温泉地です。令和元年10月には市内3カ所目の国民保養温泉地に指定されており、この知名度と地域資源を生かしながら、温泉街の賑わいづくりを創出します。また、官民が連携し、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街として、日浴道開通後も通過点ではなく目的地となるよう魅力ある温泉観光地をめざします。

また、日浴道の延伸に伴い鼠ヶ関インターチェンジ（仮称）やその周辺に道の駅移転整備が計画されており、鼠ヶ関及び周辺地域の魅力向上による誘客促進と庄内浜産魚介類を活用した漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図り、地域経済に効果をもたらす取組を進めます。

○主な施策

- ① あつみ温泉の観光資源である温海公園（あつみ温泉バラ園）の整備と足湯などの滞留拠点となる施設の改修、桜並木の維持や植栽の奨励による景観整

備など、温泉街のクオリティを高める取組を進め、あつみ温泉の魅力の向上を図ります。

- ② あつみ観光協会、温海温泉旅館組合、地域住民、地域づくり団体や行政など多様な主体が連携し取り組む集客イベントの実施、朝市広場の有効活用や魅力ある店舗づくり等を支援し、あつみ温泉街の賑わいづくりを進めます。
- ③ 計画されている道の駅移転整備事業において、温海らしさを盛り込み地域産業の活性化につなげる取組を進めます。
- ④ 既存道の駅「あつみ」しゃりんの有効活用を検討し、誘客促進に取り組みます。
- ⑤ 漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上の取組を支援し、鼠ヶ関に観光客を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進めます。

イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

○施策の方向

温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。

○主な施策

- ① 体験型観光や教育旅行の受け入れなどの取組を支援し、交流人口の拡大を推進します。
- ② しな織を活用した交流人口拡大などを図るため、関川地区活性化計画^{*}に基づく取組を支援します。
- ③ **地域内外の若者の交流を促進し**、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材が、地域とつながり、支援できる仕組みづくりを進めます。

※関川地区活性化計画

本市関川地区において、しな織を活用した交流人口の拡大と地域産物の販売額増加による地域活性化を目的に2016(平成28)年4月に策定した計画

ウ 地域特性を生かした農林水産業の振興

○施策の方向

豊かな自然や変化に富んだ地形、歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築します。また、新たな道の駅を視野に、少量多品種であっても稼げる仕組みづくりにより、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。

貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布^{*}」の継承、振興を支援します。

○主な施策

- ① 古くから栽培されている在来作物などの栽培技術の継承や認知度向上を図ります。さらに「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」等の在来作物のブランド力を高め、さらに販路を拡大する取組を支援します。
- ② 産直活動組織の活動を支援するとともに、少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興を図ります。
- ③ 担い手となる経営体への農地集積を進め、持続可能な営農体制の構築を図ります。
- ④ 伝統的工芸品「羽越しな布^{*}」の振興を図るため、後継者育成や経営体制強化の取組を支援します。

※羽越しな布

本市関川地域と新潟県村上市雷、同山熊田の3地域で継承されているしなの木の樹皮を原料とした織物で、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和49年5月25日、法律第57号）に基づき、経済産業大臣より2005（平成17）年9月22日に「羽越しな布」として指定。

エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

○施策の方向

地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切にし、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持し、コミュニティ強化を図る取組を支援します。温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が安心して暮らし続けるために、地域に適した公共交通体系の構築やデジタル活用を進め、生活環境の維持向上を図ります。

また、少子高齢化が進む中で、高齢者が活躍する場の創出を図るとともに、**郷土愛の醸成**や教育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれる魅力のある地域をめざします。

あわせて、地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。

○主な施策

- ① 将来にわたり持続可能な自治会機能等の維持強化を図るため、集落の将来像を示す集落ビジョンの策定を促し、住民同士の良好なコミュニケーションを醸成する取組を支援します。また、ビジョンに基づく自治機能や拠点施設の維持、地域コミュニティ活動の活性化を支援します。
- ② 温海地域内にある既存施設、遊休資産や空き家を利活用し、地域活力の創造につながる取組を推進します。
- ③ 住民の移動手段となる乗合タクシーの運行を支援し、地域に適した公共交通網の形成をめざします。あわせて、遠距離通学となっている高校生等がい

る世帯に対する支援や、その手続きのデジタルワンストップ化により保護者の負担軽減を図ります。

- ④ 高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、健康でいきいきと暮らせる環境づくりを推進します。
- ⑤ 誰もが住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、地域住民と多様な主体の協働や共助による地域のささえあい活動を支援します。
- ⑥ 豊かな自然環境、伝統文化、産業など地域資源を活用し、保育園から中学校まで一貫した生きる力を育む教育（SEL[※]）を推進します。また、中学生を対象として、地域の人材やICTを活用し学習支援を行うあつみ地域未来塾の取組を支援するなど子育て・教育環境の充実と郷土愛の醸成を図ります。

※SEL（Social & Emotional Learning）

社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育

施策の成果指標

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
あつみ温泉及び鼠ヶ関地区観光施設の観光入込客数(道の駅含む)	478 千人 (2017 (平成 29) 年度)	385 千人 (2022 (令和 4) 年度)	820 千人 (2028 年度)

[設定理由]

温泉街の景観整備や魅力向上、日沿道鼠ヶ関IC付近に計画されている道路休憩施設をはじめ周辺の魅力向上により、観光入込客数の増につながる。

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
教育旅行受入れ学校数	2 校 (日帰り) (2017 (平成 29) 年度)	34 校 (宿泊 32 校、日帰り 2 校) (2022 (令和 4) 年度)	20 校 (宿泊 20 校) (2028 (令和 10) 年度) ※当初設定値 12 校 (宿泊 6 校、日帰り 6 校)

[設定理由]

魅力ある体験メニューの開発や受け入れ態勢の整備を進めることにより、温海地域を目的地とする教育旅行の誘致増加につながる。

[変更理由]

新型コロナウイルス感染症の影響により、近場への教育旅行が一時的に増加した。今後も教育旅行を誘致し、受け入れしていくため、成果指標を上方修正する。

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
越沢三角そばの栽培面積	25,160 m ² (2017(平成29)年度)	108,530 m ² (2022(令和4)年度)	150,000 m ² (2028(令和10)年度) ※当初設定値 80,000 m ²

[設定理由]

在来作物の普及活動やブランド力向上を進めることにより、栽培面積の拡大や販売単価の上昇が期待される。

[変更理由]

当初設定値を達成したため、成果指標を上方修正する。

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
焼畑あつみかぶの販売単価	209 円/kg (2017(平成29)年度)	222 円/kg (2022(令和4)年度)	230 円/kg (2028(令和10)年度)

[設定理由]

在来作物の普及活動やブランド力向上を進めることにより、栽培面積の拡大や販売単価の上昇が期待される。

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
集落ビジョン策定自治会数	11 自治会 (2018(平成30)年)	13 自治会 (2022(令和4)年)	27 全自治会 (2028(令和10)年度)

[設定理由]

特色ある自治機能を側面から支援する施策展開により、自治会内の話し合いの活発化や共助の機運の高まりが期待され集落ビジョンの策定につながる。